

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年8月4日(2022.8.4)

【公開番号】特開2021-23370(P2021-23370A)

【公開日】令和3年2月22日(2021.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2021-009

【出願番号】特願2019-140811(P2019-140811)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月27日(2022.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の可変表示において特定の識別情報が停止表示すると、遊技者に有利な特定遊技状態にすることがある遊技実行手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段とを備えた遊技機において、

前記演出実行手段は、

前記識別情報の可変表示を行う権利が発生したことに応じて所定表示を実行可能であり、

前記所定表示に作用を及ぼし得る作用演出を実行可能であり、

前記作用演出が前記所定表示に作用を及ぼすことによって、前記所定表示の表示内容が変化することがあり、

前記作用演出には、第1作用演出と第2作用演出とがあり、

前記第1作用演出、および前記第2作用演出の双方が実行されることを遊技者が認識可能な待機演出が実行可能であり、

前記待機演出が実行されているときに、前記第1作用演出が開始され、当該第1作用演出による前記所定表示への作用が及ぼされた後に、続いて前記第2作用演出が開始され、当該第2作用演出による前記所定表示への作用が及ぼされることがあることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る遊技機は、

識別情報の可変表示において特定の識別情報が停止表示すると、遊技者に有利な特定遊技状態にすることがある遊技実行手段と、

所定の演出を実行可能な演出実行手段とを備えた遊技機において、

前記演出実行手段は、

前記識別情報の可変表示を行う権利が発生したことに応じて所定表示を実行可能であり

50

前記所定表示に作用を及ぼし得る作用演出を実行可能であり、

前記作用演出が前記所定表示に作用を及ぼすことによって、前記所定表示の表示内容が変化することがあり、

前記作用演出には、第1作用演出と第2作用演出とがあり、

前記第1作用演出、および前記第2作用演出の双方が実行されることを遊技者が認識可能な待機演出が実行可能であり、

前記待機演出が実行されているときに、前記第1作用演出が開始され、当該第1作用演出による前記所定表示への作用が及ぼされた後に、続いて前記第2作用演出が開始され、当該第2作用演出による前記所定表示への作用が及ぼされることがあることを特徴とする。

10

20

30

40

50